仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所　長崎県諫早市高城町西福地

2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	消防令別表第一	備考
諫早共同福祉施設	RC	5	1984.14		
ボイラー室	〃	1	12.0		

3. 工事種目（●印を付けたものを適用する。）

建物別及び屋外 工事種目	本体	ボイラー室			屋外
● 空気調和設備	新設 一式	一式	一式	一式	一式
○ 暖房設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 換気設備	新設 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
○ 排煙設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 衛生器具設備	新設 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 給水設備	〃 一式	新設 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 排水設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 給湯設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 消火設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● 厨房器具設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
○ 焼却炉設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● ガス設備	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式	〃 一式
● し尿浄化槽設備					新設 一式
○					
○					
○ 昇降機設備	一式	一式	一式	一式	一式
○					
○					

4. 設備概要（◎印を付けたものを適用する。）

方式及び種別	設備概要
空調方式	◎空気調和　◎ダクト方式
暖房方式	◎ファンコイルユニット　◎ダクト併用方式 ・温風暖房　（・暖房専用　・将来冷房可能） （・温風暖房機　・空気調和機） ・直接暖房　（・温水　・蒸気） ・在来暖房　（　　）
給水方式	・水道直結式・加圧給水装置式 ◎高置水槽式（◎市水・井水・　）
排水方式	・建物内汚水、雑排水（◎分流　・合流） ・建物外放流先 (1)汚水　・直放流下水管　・し尿浄化槽　・汲み取り (2)雑排水　・直放流下水管　◎合併処理槽　・側溝
消火設備の種別	◎屋内消火栓設備　・スプリンクラ設備　・ハロゲン化物消火設備 ・泡消火設備　・粉末消火設備　・屋外消火栓設備 ・連結送水管　・連結散水設備
ガスの種別	◎都市ガス（発熱量 4500 Kcal/㎥、供給事業者名 九州ガス株式会社） ・液化石油ガス（発熱量　Kcal/kg）

II. 工事仕様

1. 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて雇用促進事業団工事共通仕様書(2)〔一般用〕（昭和56年版）及び建設大臣官房官庁営繕部監修の機械設備工事標準図（昭和56年版）による。

2. 特記仕様
(1)章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2)特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
● 一般共通事項	①. 機材等	別紙設備機材等指定表によるほか同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、技術室長の承認を受ける。
	②. 職方、その他	◎ 各種工事の施工にあたっては職業訓練法に基づく技能工に優先して施工させる。 ◎ 下請業者決定と同時に各種工事に係る職種別就業技能士の計画人日数を提出する。 ◎ 工事完了時において各種工事に係る職種別就業技能士の延人員を報告する。
	③. 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、共通仕様書による。
	4. 監督員事務所	・ 設けない　・ 設ける（・1号　・2号　・3号　・4号　・5号）
	⑤. 工事用電力・水その他	この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	⑥. 工事用仮設物	構内につくることが　・できる　◎ できない
	⑦. 足場・さん橋類	◎ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・本工事で負担とする。
	⑧. 残土処分	・ 構内敷ならし　・ 構内指定場所にい積　◎ 構外搬出適切処理
	⑨. 発生材の処理	・ 発生材は監督員の指示により相手方に引渡す ◎ 構外搬出自由処分とする。
	⑩. 製作図・施工図	主要機材の製作図は原則として契約後30日以内、浄化槽は14日以内に、また施工図は監督員の指示する時期に提出する。
	⑪. 工事写真	雇用促進事業団監督業務委託要領（昭和56年版）による。
	⑫. 完成図及び保守指導案内書	◎ 完成図　◎ 施工図　（図面複写紙各1部、保守指導案内書1部を提出する。
	⑬. 測定表	下記の測定表を提出する。（測定箇所等は監督員の指示による。） ◎ 温度　◎ 湿度　◎ 風速　・ 排煙風量　◎ 水量 ◎ 騒音（範囲 下記機室 機械室）　◎ 振動（範囲　機械室　）

章	項目	特記事項
	⑭. 電動機	換気扇、圧力扇、厨房機器その他これらに類するものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。
	⑮. 電源周波数	・ 50Hz　◎ 60Hz
	⑯. 容量等の表	(1)機器類の能力、容量等（電動機出力を除く）は、原則として表示された数値以上とする。 (2)電動機出力は、原則として表示された出力以下の容量とする。
	⑰. 機器据付用地震力並びに配管及び風道の耐震支持	次に掲げる事項以外は、すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修 1982年版）による。
	⑱. 電線管	(1) 特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。 (2) 可とう電線管は、2種金属製可とう電線管とする。
	⑲. 電線	特記なき電線は、600Vビニル絶縁電線とする。ただし、自動制御設備に係る配線は共通仕様書による。
	20. 斫り	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッタによる。
	㉑. 他工事との取り合い	スリーブ、箱入れその他他工事との取り合いは、別表－Ⅰによるものとし、施工に支障を来たさない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合せる。
● 空気調和設備	1. 設計温湿度	外気：一般系統　夏季 31.6℃ 63% 27℃ %　冬季 1.1℃ 58% 22℃ % 室内：夏季 27℃ 50% 22℃ 40%　冬季 22℃ 40% 18℃ %
	2. 煙感知器	・ 設ける（電源はバーナ電源（2次側）よりとり出すものとし配管配線を含む）
	3. ばいじん量測定口	・ 設ける（測定口は径80φとし、取り付け箇所は煙道の直線部とする。）
	④. 煙突	◎ 別途　・ 本工事
	⑤. 煙道	鋼板厚（ ◎ 3.2mm　・ 4.5mm）
	⑥. 風道	◎ 低速風道
	⑦. 風量測定口	取り付け箇所は（・ 図示した位置　◎ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト）
	⑧. ファンコイルユニット用流量調節弁	◎ 流量の設定が可能なもの　・
	⑨. チャンバ	(1) 内貼りを施すチャンバの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンバ、レタンチャンバ及び風道系統の消音内貼りしたチャンバには、点検口を設ける。点検口の大きさは図面による。 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバ及びホッパーは雨水の滞留する恐れがある場合には、排水管(呼び径20)を取り付け、屋外又は間接排水口に導く。
	⑩. 防煙ダンパ	共通仕様書第3編1.11.12によるほか、下記による。◎ 手動復帰 自動閉鎖機構はソレノイド（瞬時通電式）又は電動式とし、自動復帰機構は電動式とする。 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。
	11. ピストンダンパ	・ 手動復帰式　・ 自動復帰式
	⑫. 配管材料	・ 蒸気管　配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 油管　配管用炭素鋼鋼管（黒） ◎ 水道用亜鉛めっき鋼管　冷温水管、井水管 ◎ 冷却水管　ライニング鋼管（◎ VA　・ VB）　水道用亜鉛めっき鋼管 ◎ 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクより[illegible]の給水管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。
	⑬. 防錆	◎ 土間コンクリート内及び地中配管する鋼管類（蒸気配管を除く）は、給水設備の当該項目による。 ・ 油管の地中埋設部の塗覆装は（・ 防水麻布巻　・　　）とする。
	⑭. 弁類	◎ JIS 5kgf/㎠　・ JIS 10kgf/㎠（特記部分）
	⑮. 温度計	下記の管及び風道に温度計を取付ける。 ◎ 冷凍機の冷却水及び冷温水の出入口、冷温水発生機の冷却水及び冷温水の出入口、ボイラの温水入口、ユニット形空気調和機の冷温水出入口、パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口、熱交換器の温水出入口、並びに冷温水管寄せの各返り管。 ・ 空気調和機（パッケージ形を含む）又は温風暖房機の出入口、還気風道及び外気風道。
	⑯. 防振継手	◎ 共通仕様書第2編1．7．9．による。
	⑰. 可撓継手の長さ	管径mm　40以下　80　100以上　全長mm　300　500　700　（ゴム製） 管長mm　50以下　65～150　200以上　全長mm　500　750　1,000　（SUS製）
	⑱. 圧力計及び真空計	◎ 下記の管に圧力計及び真空計を取付ける。 冷凍機の冷却水及び冷水の出入口、ユニット形空気調和機の冷温水出入口、冷温水発生機の冷却水及び冷温水の出入口、熱交換器の温水出入口並びにオイルポンプの吐出管に圧力計を、オイルポンプの吸込管に真空計を取付ける。
	⑲. 瞬間流量計及び流量測定口	◎ 冷温水管寄せの各送り管にコップ付瞬間流量計を（・ 設ける　◎ 設けない） ◎ 冷凍機の冷水出口及びボイラの温水出口に流量測定用（ピトー管流量計用）ラッピング（32mm）を設ける。
	⑳. 機械室配管つり金具	機械室名：5F機械室　5F空調室 防振つり金具：シングル　・　◎　・ 防振つり金具：ダブル　◎　・　・ 施工範囲：冷却水管、冷温水管、温水管、冷水管
	㉑. 保温及び消音内貼り	共通仕様書第1編2．8．4 による。ただし、下記の部分は本仕様による。 ・ 還り風道の保温要（保温の厚さ25mm） ・ 外気風道の保温要（保温の厚さ25mm）[illegible]の外部[illegible] ◎ 風道の保温の外装は下記による。
		屋内露出：倉庫・書庫　・接着剤＋アルミガラスクロス・ガラスクロス・亜鉛鉄板 屋内露出：5F[illegible]機械室　・接着剤＋アルミガラスクロス ◎ガラスクロス・亜鉛鉄板 屋内露出：5F[illegible]機械室　・着色亜鉛鉄板　・アルミニウム板 ◎ [illegible] 屋内露出：居室・廊下など　・亜鉛鉄板　・着色亜鉛鉄板 屋外露出・浴室・厨房・脱衣室などの多湿箇所　・ステンレス鋼板　・亜鉛鉄板　・着色亜鉛鉄板
		◎配管の保温外装は、下記による。
		屋内露出：倉庫・書庫　・アルミガラスクロス　◎布 屋内露出：各階機械室　・アルミガラスクロス　◎布 屋内露出：中央機械室　◎布　・アルミガラスクロス 屋内露出：居室・廊下など　・亜鉛鉄板　・着色亜鉛鉄板 屋外露出・浴室・厨房・脱衣室などの多湿箇所　◎ステンレス鋼板　・亜鉛鉄板　・着色亜鉛鉄板
		◎ 還ベいダクトのフランジ部（補強を含む）は厚さ25mmの保温を重ね巻きする。 ◎ 建物内の空気抜き管の保温は共通仕様書第1編 2．8．4 の温水管の項による。 ◎ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、共通仕様書第1編 2．8．3 の排水管の項による。 ◎ 屋外露出部（給水管、消火管、冷温水管、膨張管、冷水管、温水管、[illegible]ーパーフロ管ドレン管、弁類を含む）は防凍保温を行う。その仕様は共通仕様書第1編 2．8．3 の3(ハ)（ただし、冷温水管、膨張管及び温水管は(ヲ(イ))とする。厚さは呼び径25mm以下のものは25mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。 ・ 温水、冷温水及び補給水ポンプの防凍保温は共通仕様書第1編 2．8．4 h（イ）Ⅵによる。 ◎ チャンバ及び風道の消音内貼り（図示箇所）を施した部分は外部の保温を不要とする。 ◎ アネモディフューザの外コーン部は、防露上、有効な措置を講ずる。
	22. 放熱器付属品	温水用には温水用放熱器弁及びレタンコックを取り付ける。 ・ コンベクタ及びベースボードヒータ用の弁・トラップは （・ 内蔵　・ 露出）とする。
○ 換気設備	①. 風道	◎ 低速風道　・ ・ 下記の部分は1番手厚いものを使用する。 範囲（　　）
	②. 風量測定口	取付位置は（・ 図示した位置　◎ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト　・ 共通仕様書第3編3・2・14.）とする。
	③. 防煙ダンパ	空気調和又は暖房設備の当該項目による。
	4. ピストンダンパ	空気調和又は暖房設備の当該項目による。
	5. 多湿箇所の風道範囲	・ 厨房　・ 浴室
	6. チャンバ	空気調和又は暖房設備の当該項目による。
	7. 排気フード	・ 共通仕様書第3編 1．11．14.及び 2．2．5（排気フード）による。 ・ 排気フードの補強及び支持金物・接合材等は、亜鉛鉄板製風道の当該事項による。 ・ 排気フード据りに付ける幕板は、 ・ 別途　・ 本工事（SUS－304厚さ0.5t以上）
○ 排煙設備	①. 風道	・ 亜鉛鉄板　・ 普通鋼板（厚1.6mm）
	2. 排煙口の形式	・ 天井取付（スリット形　・ スイング形　　） ・ 壁取付（・ スリット形　・　　）
	3. 排煙口開放装置	・ 手動　・ 手動及び遠隔操作可能なもの。
	④. 排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準ずる。
	5. 排煙口のパッキン	燃焼せず、温度280℃において、30分間以上、溶融、硬化、炭化などの変化が生じないこと。
● 衛生器具設備	①. 大便器洗浄弁	◎ バキュームブレーカ付　・ 節水形
	2. 小便器洗浄用タンク	・ タイムスイッチ＋ハイタンク　・ 脱臭連動＋ハイタンク　・ ハイタンク
	3. 小便器洗浄管	・ 露出　・ いんぺい（防露形）
	4. 化粧棚	・ 露出（防露形）
	⑤. 水せっけん入	・ 埋込　・ 露出
	⑥. 水栓	陶器製（・ 露出形　・　　） ・ 横形　◎ 立形 ・ 水栓類を使用する場合、水栓は計量水栓とする。ただし衛生器具付属のものは吊りこまでもよい。 ・ 節水コマは、洗面器、手洗器用の水栓とし、その他は普通コマとする。 ◎ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。
● 給水設備	①. 量水器	◎ 親メーター（◎貸与品　・　）◎ 子メーター（◎買い取り　・　）
	②. 量水器附属	◎ 水道業者指定品（・貸与品　◎買い取り）　・ 標準図MC形
	③. 弁類	◎ 水道直結部分　JIS（◎ 10kgf/㎠　・　）
	④. 配管材料	◎ その他の部分　JIS（◎ 5kgf/㎠　・　） (1) 屋内（埋設部分を除く。）　◎ ライニング鋼管（・ VA　◎ VB） ・ ポリ粉体鋼管（PB）・ 銅管 (2) 屋内埋設　◎ ライニング鋼管（・VA◎VB）・ 銅管 ・ ポリ粉体鋼管（・ PB　・ PC） (3) 屋外埋設　◎ ライニング鋼管（・VA◎VB）・ 銅管 ・ ポリ粉体鋼管（PC）
	⑤. 防錆	共通仕様書第2編 2．2．3 によるほか、下記による。 鋼管類のねじ切り部及びレンチの傷跡等は、共通仕様書第1編 2．7．1 の塗による さび止めペイント2回塗りその他当該部分の防錆として有効な塗装を行う。 揚水管は空気調和又は暖房設備の当該項目を適用する。
	⑥. 防振吊り金物及び防振支持	◎ 共通仕様書第2編 2．2．3（埋設除き）による。 ・ 水道事業者指定深度（・ 一般地　・ mm　・ 車両通路　mm）
	⑦. 管の埋設深さ	共通仕様書第1編 2．8．3 による。ただし、下記の部分は本仕様とする。 ・ 鋼板製高置水槽の保温（・不要　・要） ・ 鋼板製受水槽の保温（・不要　・要） ◎ 屋外露出管(弁類を含む)は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和又は暖房設備の項による。
	⑧. 保温	・ 揚水ポンプの防凍保温は共通仕様書第1編 2．8．3h（イ）Ⅵによる。
	⑨. 水栓柱	◎ 合成樹脂製　・ 人研ぎ製
	⑩. 地中埋設標	◎ 要（・共通仕様書による　・　　）　・ 不要
	⑪. スリーブ等	土中埋設する鋼管類が、地中袋及び地中壁等を貫通する部分には、硬質塩化ビニル管(JISK 6741)のスリーブを設ける。但し、外壁など水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
● 排水設備	①. 配管材料	(1) 屋内汚水管用排水管　◎ ラバージョイント形排水鋳鉄管 ・ コーティング鋼管（可撓継手又はMD継手） ◎ 排水用給管（HASS） (2) 屋内一般雑排水管　◎ 水道用亜鉛めっき鋼管 ・ コーティング鋼管（可撓継手又はMD継手） (3) 一般用排水通気管　◎ 水道用亜鉛めっき鋼管 (4) 屋外排水管　◎ 遠心力鉄筋コンクリート管（外厚管6種） ・ 硬質塩化ビニル管
	②. 防錆	給水設備の当該項目による。
	③. 洗面器等の排水管	洗面器及び手洗器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 公団形流し等の床上露出部分の配管は、硬質塩化ビニル管（VP）でもよい。
	④. 満水試験継手	図示箇所に取り付ける。
	⑤. 保温	排水鋳鉄管の保温はロックウール保温帯を使用してもよい。
	⑥. 試験	衛生器具などの取り付は完了後に行う。長尺は、煙試験又は通水試験とする。
● 給湯設備	①. 管	◎ 銅管　・ ステンレス鋼管
	②. 電触防止継手	◎ 取り付ける
	③. 弁類	JIS（◎5kgf/㎠　・ 10kgf/㎠（特記部分））
	④. ガス湯沸器	使用ガス（◎都市ガス　・液化石油ガス）発熱量　4500（◎ Kcal/㎥　・ Kcal/kg） バランス形以外のものはDSスイッチ（A形）を取り付ける。
	⑤. ガス湯沸器の給水管接続	湯沸器と給水管の接続には、ステンレス製フレキシブルチューブ(ステンレス用ガスケット)を使用してもよい。
	6. 煙突その他	・ 給湯用簡易ボイラ煙突（・ 本工事　・ 別途）とする。 ・ 給湯用簡易ボイラ煙道（・ 本工事　・ 別途） 鋼板厚（※ 3.2mm　・ ==） ・ ガス湯沸器排気筒（・ 本工事　・ 別途）とする。 排気筒は厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	⑦. 保温	共通仕様書第1編 2．8．3 による。ただし、下記の部分は本仕様による。 ・共通仕様書第1編2.8.3、1.2.6表注）らの冷水麻布巻は、防食用ビニールテープに読み かえる。 ・膨張水槽及び減圧水槽の保温は（・要　・　　）とする。
● 消火設備	①. 屋内消火栓箱	◎ HB－IA　◎ HB－IB　・ HB－2A　・ HB－2B
	②. ホース掛	◎ くし形
	③. 消火栓弁	◎ 10kgf/㎠
	④. 保温	共通仕様書第1編 2．8．3 による。ただし、下記の部分は本仕様による。 ・ 呼水槽の保温は（・ 要　・　　）とする。 保温は共通仕様書第1編 2．8．3h（イ）Ⅵによる。 ・ スプリンクラ及び泡消火配管の保温は（・不要　・　　）とする。 ◎ 屋外露出管（弁類を含む）は防凍保温を行うものとし、仕様は空気調和又は暖房設備の項による。 ・ 消火ポンプの防凍保温は、共通仕様書第1編 2．8．3 h（イ）Ⅵによる。
	⑤. 呼水槽	減水警報用電極（2極）及び水面計を付属品とする。
	6. 試験	ハロゲン化物消火装置の放出試験には、二酸化炭素を代用してもよい。
● 厨房設備	①. 機器の寸法	概略寸法とする。
	2. 燃焼機器	使用ガス（・ 都市ガス　・ 液化石油ガス）発熱量　（・ Kcal/㎥　・ Kcal/kg）
	3. 制御盤・操作盤	製造者の標準形とする。
○ 焼却炉設備	1. 設置場所等	・ 屋外設置　・ 屋内設置、ダンパ（・要　・不要）
	2. 燃焼方式	・ 自然燃焼式　・ バーナ燃焼式（・ 油　・ ガス）
	3. 焼却能力	焼却対象物　kg/h)
	4. 煙突	・ 本工事（・製造者規格品　・鋼板厚　mm）　・ 別途
	5. 煙道	鋼板厚は（・ 3.2mm　・ 4.5mm）とする。
	6. 保温	煙道の保温は（・ 要　・　　）とする。なお、保温を行う場合は共通仕様書第1編 2．8．4 M(イ)Ⅵによる。
● ガス設備	①. 配管材料	・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 水道用亜鉛めっき鋼管　・ 銅管 ◎ ポリエチレン被覆鋼管（地中埋設部）　・ 防食テープ2重巻とする(地中埋設部)。
	2. ボンベ	・ 別途（・ 10kg　・ 20kg　・ 50kg） 転倒防止鎖（・ 本工事　・ 別途）
	③. メーター	・ 貸与品
	④. 塗装	◎ 本工事
	⑤. 所り	◎ 本工事
	⑥. ゴム管	◎ 強化ゴム管とする。
	⑦. ガス漏れ警報器	◎ 設置する（・本工事　・別途工事）◎ 電気工事
● し尿浄化槽設備	①. 処理対象人員	314 人
	②. 処理水量	13 ㎥/日・
	③. 放流水水質	水素イオン濃度（PH） 生物化学的酸素要求量（BOD）　20　ppm以下 化学的酸素要求量（COD）　ppm以下 浮遊物質　40　ppm以下
	④. 処理種別	・ 単独処理　・ 分離接触ばっ気方式 ・ 分離ばっ気方式 ◎ 合併処理　・ 回転式接触方式 ・ 接触ばっ気方式 ◎ 長時間ばっ気方式
	⑤. 消毒剤	1ケ月相当分以上を納入する。
	⑥. 形式	・ ユニット形　◎ 現場施工形
	⑦. 電源	・ 単相　◎ 3相 200 V　・　W以下　・　KW以下
	⑧. 施工範囲	共通仕様書第6編 1．2によるほか、下記による。 ◎ コンクリート躯体は（・別途　・本工事）とする。 ◎ 基礎杭は（◎不要　・要）とする。 ◎ 巡視機室は（・不要　◎要）とする。 ◎ 防護さくは（・不要　◎要）とする。防護さくの材質は（・アルミ製　・鋼製・ネットフェンス）とし、さくの高さは　mとする。
	⑨. 設置条件	◎ 電気工事（◎配線　◎配管）は、（・別途分電盤　◎制御盤）以降を本工事とする。 ◎ 設置面積約 40 ㎡（約 8.8 m×約 3.2 m） ◎ スクリーン　◎ 調整槽　◎ ばっ気槽　◎ 沈殿槽等は（・ 地上設置　◎ 地下設置）とする。 ◎ 巡視機室は（◎地上設置　・地下設置）とする。
	⑩. 手続等	官公署への手続又は手続変更は、契約後20日以内とし、請負者が代行処理する。
	⑪. 流入管底	約GL－ 500 mmとする。
	12. 蓋	ユニット形の場合の蓋は製造者の標準とする。但し、鋳鋼板の蓋及び格子蓋には脱落防止装置を取り付ける。

別表Ⅰ　他工事との取合い

工事内容		機械設備工事	電気設備工事	建築工事
機器の基礎	屋内設備	◎	・	・
	屋上設備	・	・	◎
	屋外設備	◎	・	◎
	特記した基礎	◎	・	・
梁貫通スリーブ	補強鉄筋	・	・	◎
	スリーブ	◎	・	・
床、壁貫通スリーブ	補強鉄筋	・	・	◎
	スリーブ	◎	・	・
床、壁貫通の仮枠	器具類、風道、消火栓箱、吸込口、吹出口、換気扇、大便器等の貫通仮枠	◎	・	・
	補強鉄筋	・	・	◎
天井、壁の切り込み	軽量鉄筋下地、天井、壁のボード類、下地の切り込み及び補強	・	・	◎
外気取付ガラリ	ダクト、チャンバの接続用フランジを含む	・	・	◎
換気扇の取付枠		・	・	◎
床下水槽のマンホール蓋		・	・	◎
流し（公団型）	排水トラップ（T14A）共	・	・	◎
湯沸室の排気フード		・	・	・
天井点検口		・	・	◎
防油堤	油サービスタンクの防油堤	・	・	・
電気配線管	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地共）	◎	・	・
	機器付属の制御盤への電源供給及び操作回路の渡り配管配線	・	◎	・
	天井吊り形ファンコイルユニットと操作スイッチとの渡り配管及び接地	・	◎	・
	天井吊り形ファンコイルユニットと操作スイッチとの渡り配線	・	◎	・
	~~感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線~~	~~◎~~	~~・~~	~~・~~
	~~排煙設備機器類の制御盤以降の配管配線~~	~~◎~~	~~・~~	~~・~~
電堡埠	本体のみとし配管配線は電気設備	~~◎~~	◎	・
フロートスイッチ	・	~~◎~~	・	・

諫早共同福祉施設（都市型）新築	工事	M1
仕様書		
雇用促進事業団	年 月	

機器表

○ボイラー

記号	形式	種別	送風方式	最高使用圧力	定格熱出力	使用蒸気圧力	温水出口温度	備考
B-	※寿鉄製(※普通形・温水専用形)・鋳製	※温水・蒸気	※押込・自然	kg/cm²	Kcal/h	kg/cm²	℃	普通形とは前面 、昭和 、用重 をいう。

次

○温風暖房機

記号	形式	熱出力	送風機 形式	送風機 番手	送風機 風量	送風機 静圧	送風機 電動機	送風機 基礎	台数	備考
	※送風機別置・送風機内蔵	Kcal/h	※片吸込・両吸込		m³/h	mmAq	3相200V KW	・A※B・C		加湿は電極非方式とする。 静圧は内蔵の場合機外有効、別置の場合筐内損失(mmAq)を含む。 なお別置の場合も送風機制御(動力を含む)は温風暖房機附属制御盤により行うものとする。

○バーナー

使用機記号	燃料	燃料消費量	形式	制御方式	電動機	台数	備考
	・A重油・灯油	l/h	※ガンタイプ・ロータリー	※オンオフ・ハイロー・比例	相 V KW.		地震感知器との連動により、燃料の供給をしゃ断するか若しくは燃焼器の電源又は操作回路をしゃ断することにより速やかに燃焼を停止、消火させるものとする。(配管配線共本工事とし、ガスだきボイラーの場合も地震感知器はボイラ附属品とする)
	※都市ガス	m³/h	※押込通風先混合形	全自動・オンオフ・ハイロー※比例			
	(発熱量 Kcal/m³)						

○冷凍機

記号	形式	冷却能力	電動機	操作電源	冷媒	冷水温度	冷水量	冷却水温度	冷却水量	損失水頭	基礎	台数	備考
R-	・チリングユニット・遠心式	Kcal/h	3相 V KW	3相200V KW		入口 ℃出口 ℃	l/min	入口 ℃	l/min	冷水 mAq 冷却水 mAq	※標準基礎・C		運転方式は出口温度によるON-OFF全自動とする。 附属制御盤は別紙特記仕様による。

●冷温水発生機

記号	形式	燃料	燃料発熱量 (Kcal/m³)	燃料消費量 (m³/h)	熱出力 (Kcal/h)	冷却能力 (Kcal/h)	温水温度 入口℃	温水温度 出口℃	冷水温度 入口℃	冷水温度 出口℃	冷温水量 (l/min)	冷却水温度 入口 ℃	冷却水量 (l/min)	損失水頭 冷水mAq	損失水頭 冷却水mAq	電動機	運転方式	台数	備考
RA-1	・1重効用※2重効用	都市ガス	4500		200,000	181,000	50.5	55	12	7	742	32	1166	2.4	3.9	3相200V 3KW	※全自動・半自動	1	附属制御盤は別紙特記仕様による。 逃し弁を附属する。
																並型コンクリート			
																基礎 コンクリート	200H 本工事	4	
	バーナは製造者規格品とする。																メーカー仕様ノ通り		

●冷却塔

記号	形式	冷却能力	電動機	冷却水温度	外気湿球温度	冷却水量	台数	備考
CT-1	カウンターフロー 又はクロスフロー	390000 Kcal/h	3相200V 2.2KW	入口37℃ 出口32℃	27 ℃	1166 l/min	1	塔体の高さが基礎上面より1500mm以上の場合ははしごを設ける。 ※普通形◎低騒音形(塔体の外側より水平距離1.5m、基礎面より1.0mの地点で61.5ホン(Aスケール)以下のもの) 2 1.5 コンクリート基礎 500H 別途工事

●空冷ヒートポンプ式パッケージ形機

記号	形式	冷却能力 (Kcal/h)	加熱能力 (Kcal/h)	風量 (m³/h)	機外静圧 (mmAq)	入口空気温度 冷房時 DB ℃	入口空気温度 冷房時 WB ℃	入口空気温度 暖房時 DB ℃	入口空気温度 暖房時 WB ℃	損失水頭 (mAq)	冷却水量 (l/min)	冷却水入口温度℃	加熱形式	加湿形式	加湿量 (kg/h)	電動機 冷凍機	電動機 送風機	電気ヒータ 3相200V	基礎	台数	備考
ACp-1	※水冷◎空冷	5600	6400	720		(JIS)		(JIS)					ヒートポンプ			3相200V 2.7KW	3相200V KW	KW×段	◎A※B・C	1	附属制御盤は別紙特記仕様による。
	可搬形																		屋内物	1	
																		コンクリート	H=150	1	
																			本工事		

●ユニット形空調機

記号	形式	冷却能力 (Kcal/h)	加熱能力 (Kcal/h)	風量 (m³/h)	機外静圧 (mmAq)	冷房時 コイル入口空気 DB ℃	冷房時 コイル入口空気 WB ℃	冷房時 コイル出口空気 DB ℃	冷房時 コイル出口空気 WB ℃	暖房時 コイル入口空気 DB ℃	暖房時 コイル入口空気 WB ℃	暖房時 コイル出口空気 DB ℃	暖房時 コイル出口空気 WB ℃	水量 (l/min)	損失水頭 (mAq)	電動機 (KW)	加湿量 (kg/h) 蒸気	加湿形式	基礎 種類	基礎 設置方法	台数
ACu-1	◎立形・横形	83200	49,900	15,400	40	28	21.2	16.5	15.5	17.5	11	27	14.5	277	3.5	5.5	18	水噴霧加湿器	※B・		1
〃-2	天吊形	7920	54.720	6,000	30	31.6	27	27	25.5	1.1	-1.5	22	14	182	3	2.2	30	〃			1

共通事項　1．冷水入口温度 ℃ 温水入口温度 ℃　3．機内静圧にはろ過器損失を含まない。(ろ過器損失は機外に含む)　5．電動機は3相200V用とする。
2．送風機吐出側に主ダンパを設ける。　4．コイル通過風速は2.5m/s以下とする。

●空気ろ過器

記号	形式	ろ材	処理風量(m³/h)	通過風速(m/s)	初期抵抗(mmAq)	電動機	台数	備考
AF-1	・ユニット形◎自動巻取形・請電ろ材形・電気集じん形	AT-200	12,160	1.5	5.8	3相 V KW 200 0.4	1	1．子備ろ材を100%含む。(ユニット形は枠共) 2．自動巻取形及び請電ろ材形の巻取りの始動は ※タイムスイッチによる◎差圧スイッチによる。 3．運転は空調機と連動とする。(別途工事) 4．請電ろ材形の場合は電気集じん形を使用してもよい。

●ユニットファンコイル

形式	電動機入力 (単相100V)	台数 床置形 露出形	台数 床置形 隠ぺい形	台数 天井内形 露出形	台数 天井内形 隠ぺい形	台数	備考
FCU-2	40W					3	1．フィルタ子備50%を含む。(枠共) 2．電源表示灯子備50%を含む。 3．電動機入力は参考値とする。
FCU-3	47W					6	
FCU-4	56W					19	
FCU-6	95W					9	
FCU-8	112W					15	
FCU-12	190W						

ポンプ類

名称	記号	仕様	電動機	基礎	台数	備考
○電動真空給水ポンプ	Pw-	EDR m³× kgcm²×・単式・複式	・単巻3相 V× KW	※A・B・C		ボイラー水位自動制御式。
●冷温水ポンプ	Pw-2	80mmφ× 86 l/min× 9 mAq	3相200V× 2.2 KW 4極	標準基礎 ※B・※要	1	附属CV (・要 ※不要: フート弁 (・要 ※不要) 口径は、吸込口径とする。吐出は製造者標準とする。
〃-3	65 〃 429 〃 22	〃 〃 3.7 4	〃 B 〃	1		
〃-4	50 〃 277 〃 20	〃 〃 2.2 4	〃 B 〃	1		
〃-5	40 〃 182 〃 17	〃 〃 1.5 4	〃 B 〃	1		
●冷却水ポンプ	Pw-1	80mmφ× 126 l/min× 18 mAq	3相200V× 5.5 KW 4極	標準基礎 ※A・B・C型	1	口径は、吸込口径とする。吐出は製造者標準とする。

ポンプ類

名称	記号	仕様	電動機	台数	備考
○加湿ポンプ	Pw-	mmφ× l/min× mAq	相 V× KW	・A※B・C	
○温水循環ポンプ	Pw-	mmφ× l/min× mAq	相 V× KW 極	※A・B・C	
○オイルポンプ	Po-	mmφ× l/min× kgf/cm²	相 V× KW	※A・B・C	
●揚水ポンプ	Pw-6	40 mmφ× 130 l/min× 40 mAq	3相200V× 2.2 KW 4極	◎A※B・C	2	フート弁 (※要 ※不要)
●消火ポンプ	Pw-7	40 mmφ× 150 l/min× 60 mAq	3相200V× 3.7 KW 5.4極	◎A※B・C	1	呼水槽(減水警報用電極棒共)(※要 ~~※不要~~) フート弁(※要 ~~※不要~~) エンジンヒーター付
	エンジンキャブレター付	消防用電動コード 吸音材 サクションコネクト 防振ゴム付	電動式	自動配線	型	、防振材 並型 渦巻型 鋳鉄製 ケーシング 標準ストレート型
○排水ポンプ	Pw-	mmφ× l/min× mAq	相 V× KW			※水中形 (・汚水用・汚物用 (ブレードレス))

送風機

名称	記号	形式	設置法	仕様	電動機	許容騒音値	基礎	台数	系統	備考
○送風機	F-	多翼形(※片吸込・両吸込)	※床置形・天井つり形	No × m³/h×静圧 mmAq	相 V× KW	dB(A)	・A※B・C			天井つり形のつり金物 ※配管の防振(シングル)図による。 ・配管の防振(ダブル)図による。 許容騒音値測定法はJIS B8330による。
●排風機	F-1	多翼形(※片吸込・両吸込)	※床置形◎天井つり形	No 2 1/2×3240m³/h×静圧 20 mmAq	3相200V× 0.75 KW	dB(A)	~~・A※B・C~~			天井つり形のつり金物 ※配管の防振(シングル)図による。 ・配管の防振(ダブル)図による。 許容騒音値測定法はJIS B8330による。

空調機類

名称	記号	形式	設置法	仕様	電動機	許容騒音値	基礎	台数	系統	備考
●全熱交換器	HEX-1	平面型	風量 250 / 155	m³/h 強制切替、温度効率	72% エンタルピー効率	58%	1100	150W		
〃-2	〃	〃	〃 160 / 100	m³/h 〃	70% 〃	57%	1100	61W		
○排煙機	F-	多翼形片吸込	床置形	No × m³/h×静圧 mmAq	相 V× KW		※A・B・C			・エンジン付 ・エンジン無
●換気扇	F-2	天井埋込形 遠心力型		23mmφ×63m³/h×静圧 0 mmAq	※単相・3相100V×0.15KW× 極					・自動シャッタ・連動シャッタ・ウェザカバー◎ベントキャップ・メーカー標準ファンフロア型
〃-3	〃 低騒音形			20 〃 366 〃 0		0.052				ヘッドキャップ 〃
〃-4	〃 〃			18 〃 208 〃 0		0.03				〃 〃
〃-5	〃 〃			15 〃 120 〃 0		0.016				〃 〃
〃-6	〃 〃			10 〃 60 〃 0		0.021				〃 〃
〃-7	直吹形			25 〃 1320 〃 0		0.05				メーカー標準アネルレスサーカバー 一部鋼板張 FD付 図面参照
〃-8	壁付埋込形			25 〃 900 〃 0		0.035				〃

槽類

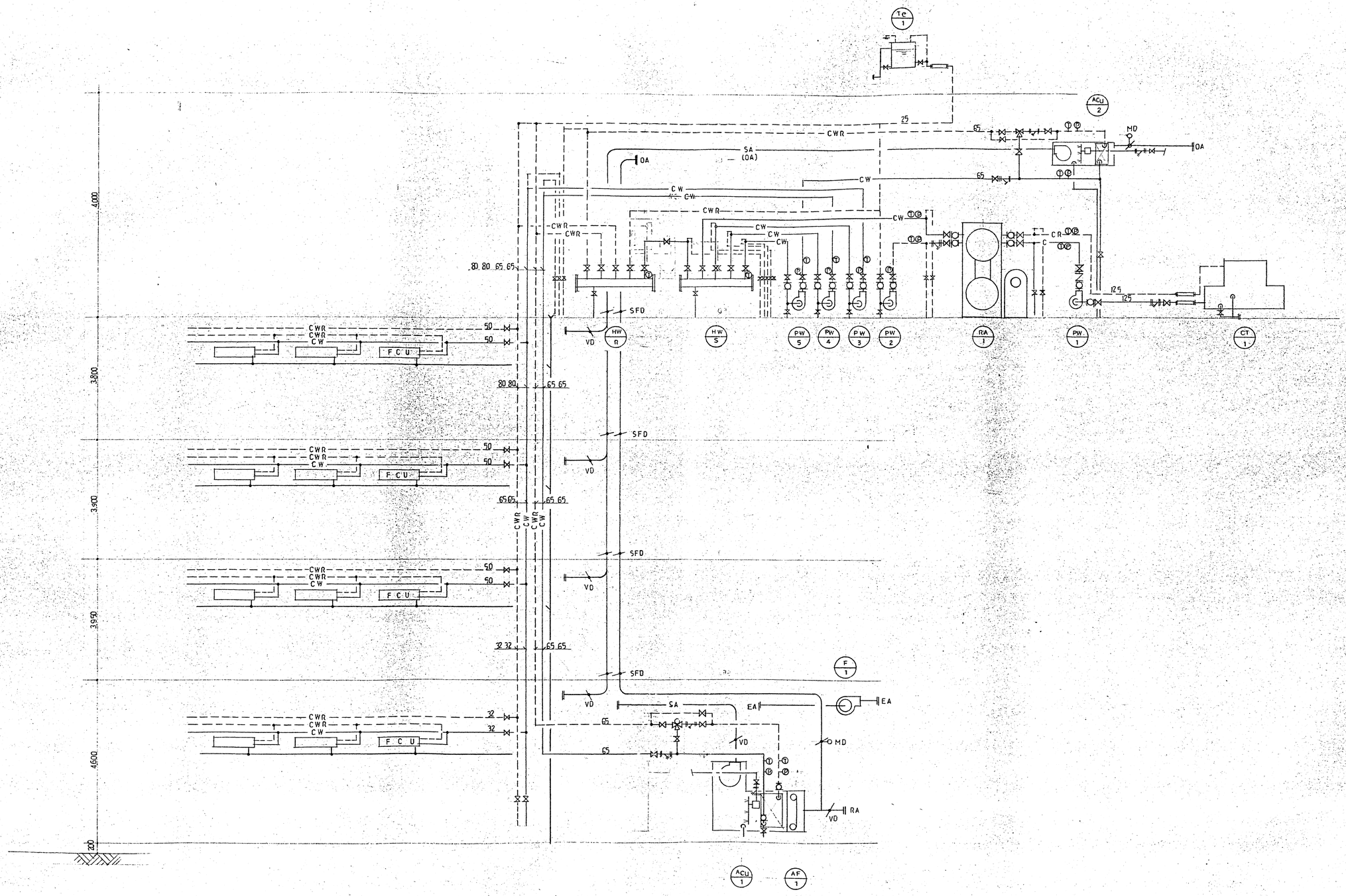
名称	記号	規格	仕様	備考
○地下貯油槽	OT-	形	タンク室: ※設けない時 ※本工事 / ・設ける時 ※別途工事(コンクリート躯体、防水工事 モルタル仕上、内部砂充填)・本工事 コンクリート工事: ※本工事 タンク保護材: ※アスファルト塗・モルタル塗	遠隔油量指示計(指示ユニットボックスを除く)を設ける (取付用タッピング及び防水形点検口共)
○オイルサービスタンク	Tos-	容量 〃 ・OST- 形 フロートスイッチ付		フロートスイッチはリレー・トランス及び格納盤を附属とし次の端子を設ける (・ポンプ制御・満油警報・電動弁・反油ポンプ)、製品は工技研(株)、昭和機器工業(株)、(限)東一製作所製又は同等品とする。
●受水槽	Tw-1	※WTF- 形・WT- 形	FRPパネル組立式 鋼製台 3×1.2″ 6m³ 埋込形	取型 K: 2/3 G	蓋受皿 (・要※不要) 鉄はしご (※要・不要) ERP製の場合は主要部分がサンドイッチ構造~~のものとします。~~
●高置水槽	Twh-1	※WTF- 形・WT- 形	FRPパネル組立式 鋼製台 2×1.15″ 3m³ 埋込形	取型 K: 1.0 G	蓋受皿 (・要※不要) 鉄はしご (※要・不要) ERP製の場合は主要部分がサンドイッチ構造~~のものとします。~~
●膨脹水槽	Te-1	容量100 〃	W 500 mm× 500 mm×H 500 mm 鋼板厚 3.2 mm 架台 500	標準型 TE-100	鉄はしご (・要※不要) 保温 (※要・不要)
●消火用システム	TWH-2	容量300	700 × 600 × 800 〃 4.5(3.2) 〃 500 〃	TE 300	
●冷温水管寄せ	HW-S	200φ 〃 2080	100A、80A、65A× 3 温度計 ヒ、排水口		
	HW-R	200A 〃 2080	同上		

その他

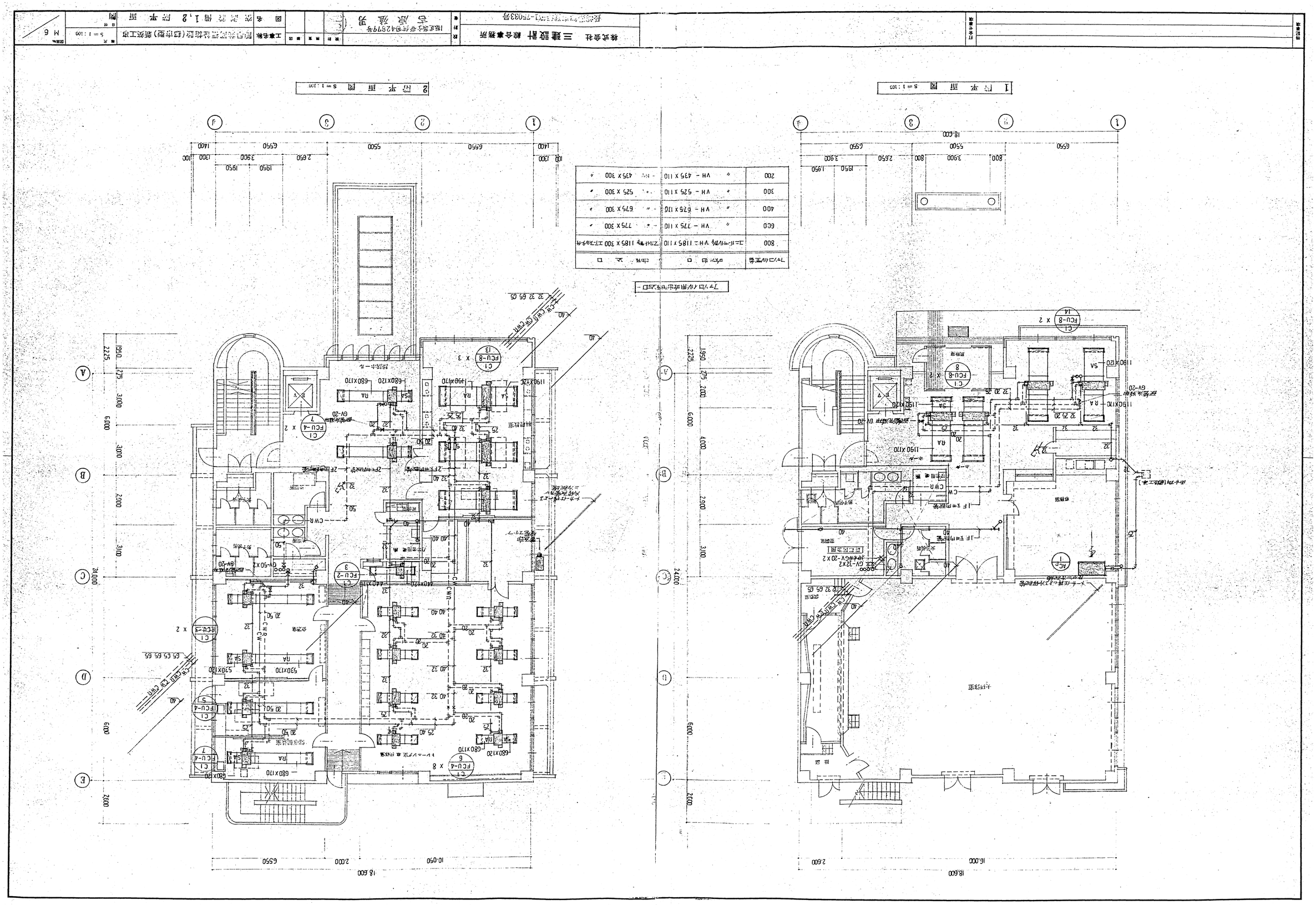
名称	記号	規格	仕様	台数	備考
●貯湯式ガス湯沸器	GH-4	容量 11 〃 ガス消費量 1.1◎m³・kg/h	◎ DSスイッチ付 密閉型	1台	使用ガス ※都市ガス・液化石油ガス 発熱量 4500 Kcal/※m³・kg ガス栓より器具までのゴム管、貯湯式ガス湯沸器のオーバフロ用ポリエチレン管は湯沸器附属とする。 DSスイッチは細山熱器(株)製DS(A)形又は同等品とする。
●瞬間式ガス湯沸器	GH-1	4号(4.2l/min25℃上昇)ガス消費量 1.9◎m³・kg/h	・バランス形 ◎普通形(DSスイッチ付) 電圧方式	2台	
〃-2	5号(5.9l/min 〃) 2.15 m³/h		◎ 〃 電圧方式	1 〃	
〃-3	ガス瞬速給湯器 屋外設置 16号 (16.5 l/min 25℃上昇) 6.8 m³/h		リモコンスイッチ	2 〃	

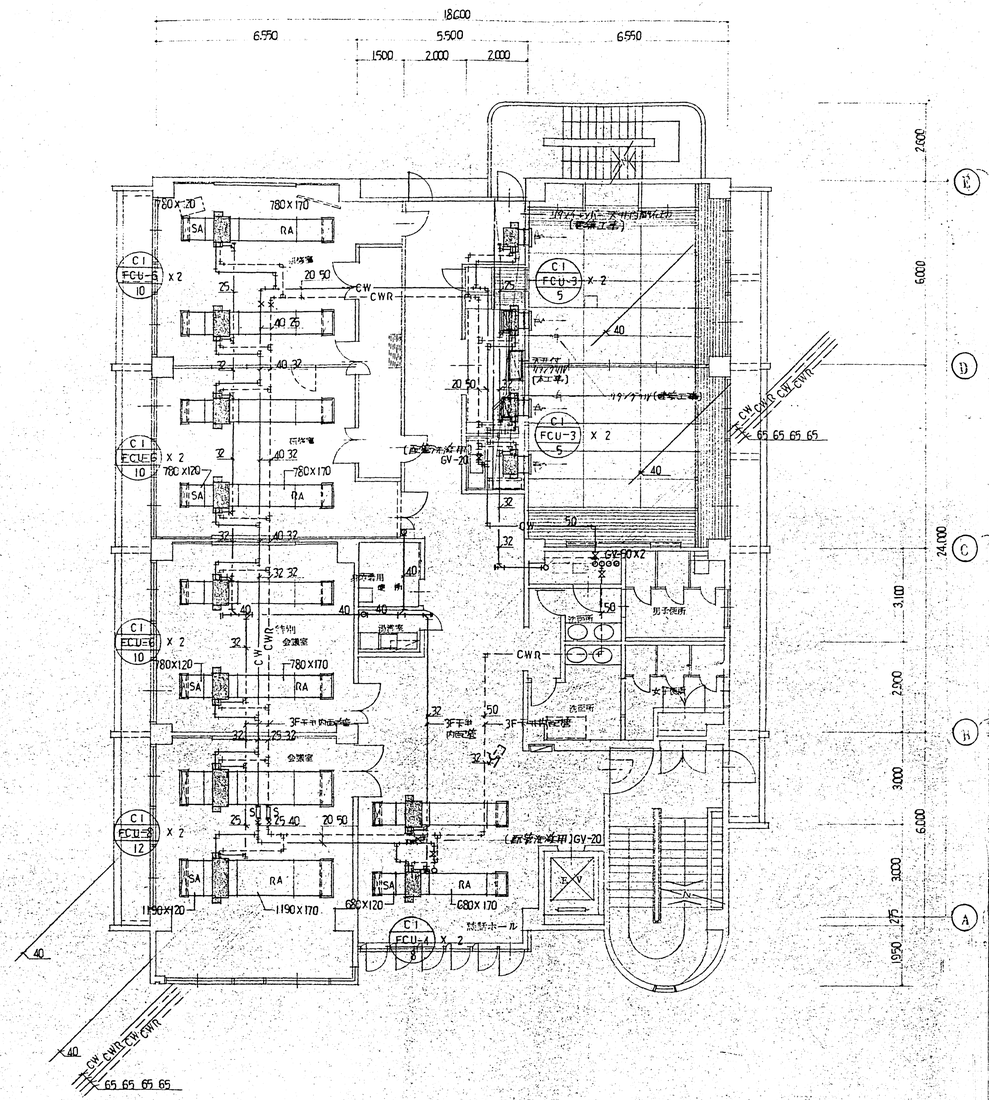
注1．基礎記号Aは標準基礎A、Bは標準基礎B、Cは防振基礎を示す。
2．附属遅相コンデンサ (※要 ~~※不要~~)

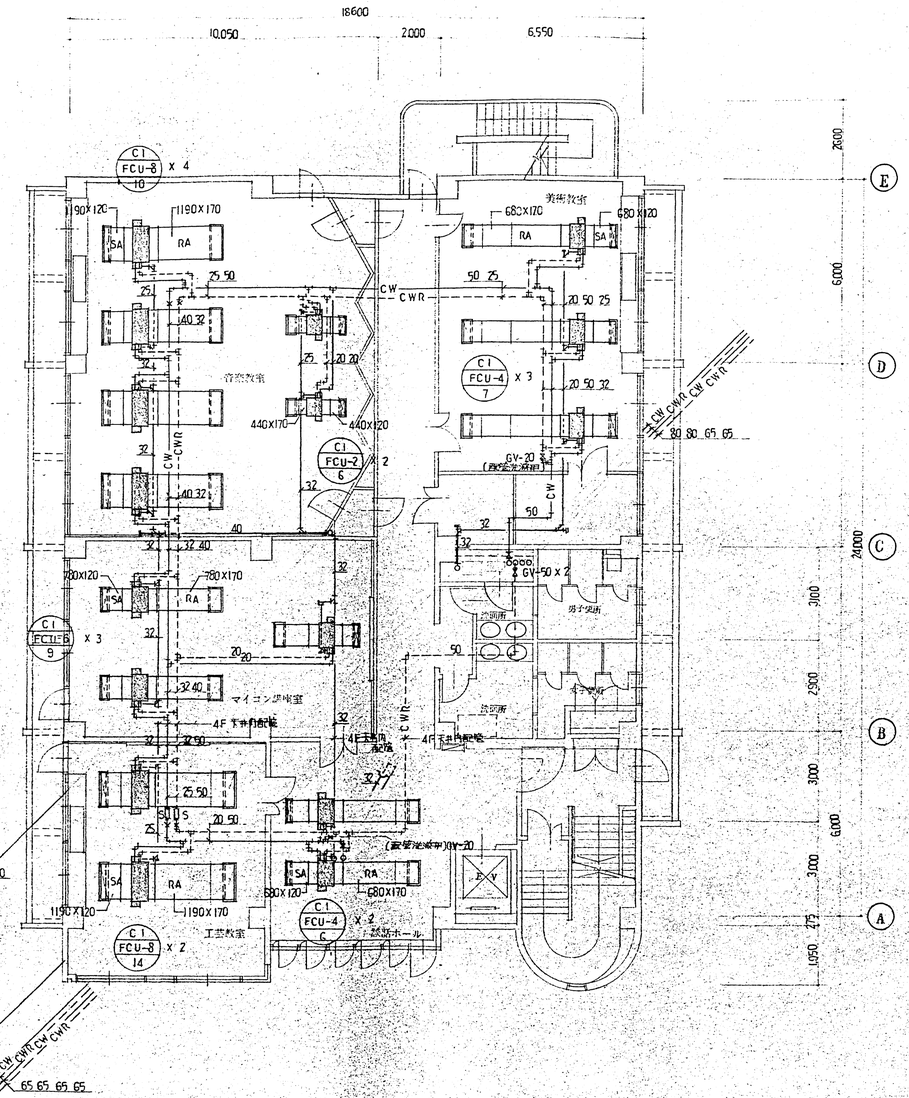
諫早共同福祉施設(仮称)新築	工事	M2
機器表		
雇用促進事業団	部長 課長	
年 月		

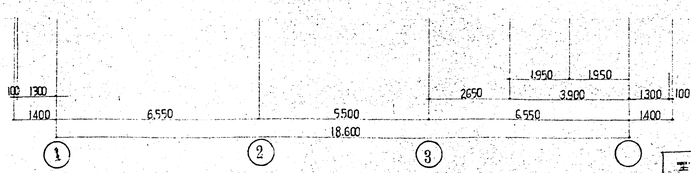


特記事項	打合せ事項	株式会社 三建設計 綜合事務所 長崎県知事 [illegible]-75033号	設計者	1級建築士登録第42879号 吉原殖男	設計	照査	審図	工事名称	諏早共同福祉施設(都市型)新築工事	縮尺 / 日付	図面No. M5
								図名	空調設備系 統図		

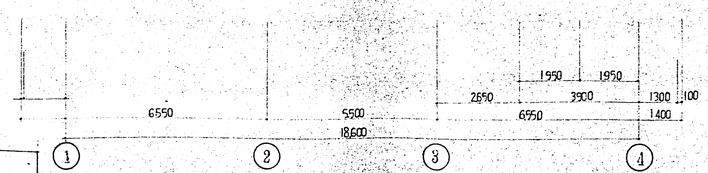

株式会社 三建設計 総合事務所
長崎県佐世保市[illegible]-[illegible]033号
建築設計者登録A2579号
古屋 雅男
工事名称
新宮市立阿田和保育所(仮称)新築工事
図名
空調機器配置図 1,2 階平面図
S=1:100
M 6
1 階平面図 S=1:100
2 階平面図 S=1:100
大講堂
教室
ホール
事務室
職員室
保育室
乳児室
調理室
給食室
ランドリー室
ベビーベッド室
倉庫
廊下
ピロティ
FCU-8 x 2
FCU-8 x 3
FCU-4 x 2
FCU-4 x 8
FCU-3 x 2
FCU-2
AC-1
CWR
CWS
CV-12X2
CV-50X2
CV-20 x 2
1190X120
1190X170
680X120
680X170
530X170
490X170
7マス口小口用点検口寸法表
7マス口小口用点検口寸法図
18,600
16,000
2,600
10,050
2,000
6,550
24,000
6,000
4,000
2,100
3,000
2,000
2,500
1,950
2,225
1,275
1,400
1,300
100







3 階平面図 S=1:100



4 階平面図 S=1:100

ファンコイル用吹出口・吸込口

型番	吹出口	吸込口
800	ユニバーサル形 VH-1185×110	スリット形 1185×300 エアーフィルター付
600	〃 VH-775×110	〃 775×300 〃
400	〃 VH-675×110	〃 675×300 〃
300	〃 VH-525×110	〃 525×300 〃
200	〃 VH-435×110	〃 435×300 〃

特記事項

打合せ事項

株式会社 三建設計 綜合事務所
長崎県佐世保市[illegible]1-75033号

設計者 一級建築士 第[illegible]2879号 吉原[illegible]男

設計 | 検査 | 審査

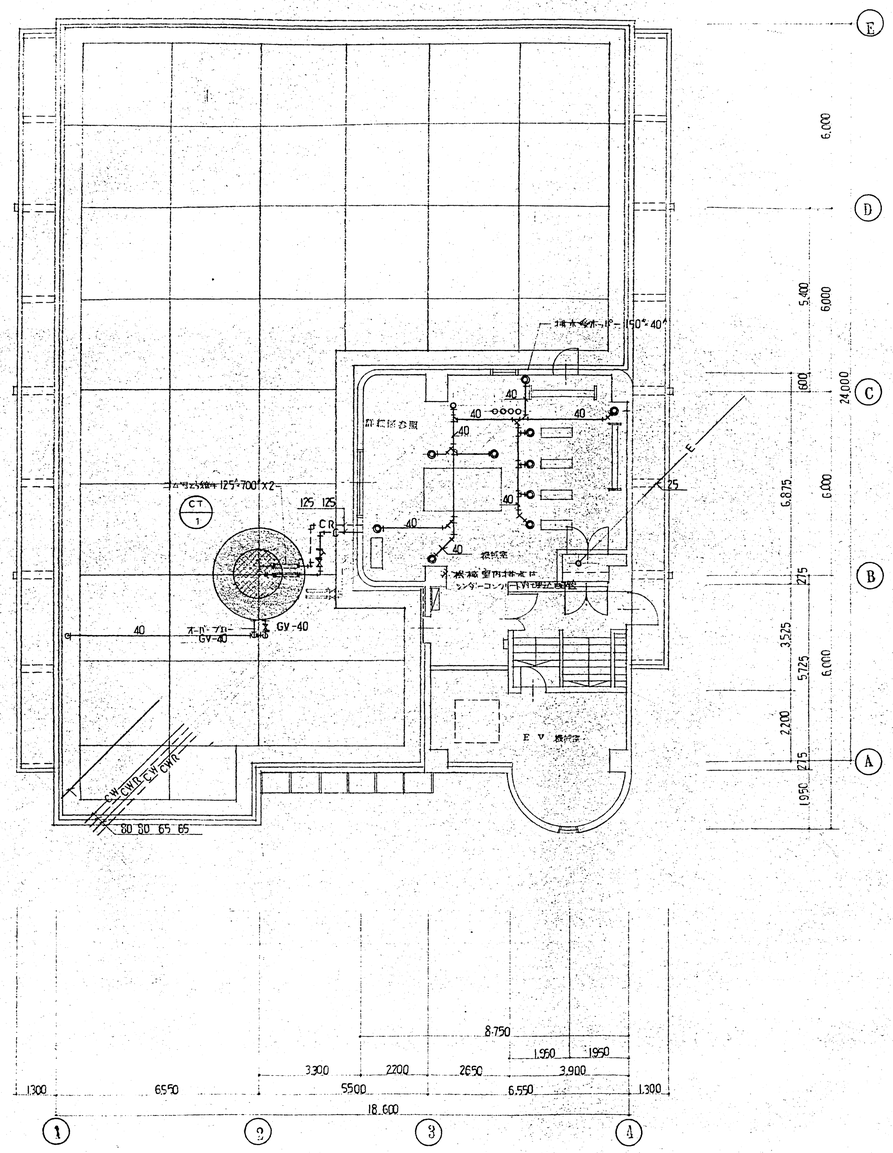
工事名称 諫早湾周辺福祉施設(都市型)新築工事

図名 空調系統図3,4 階平面図

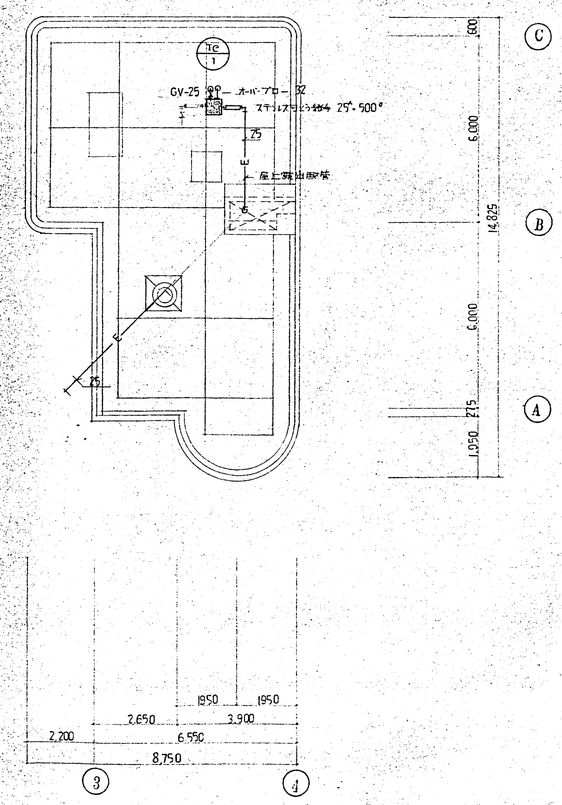
縮尺 S=1:100

日付

図面No. M 7



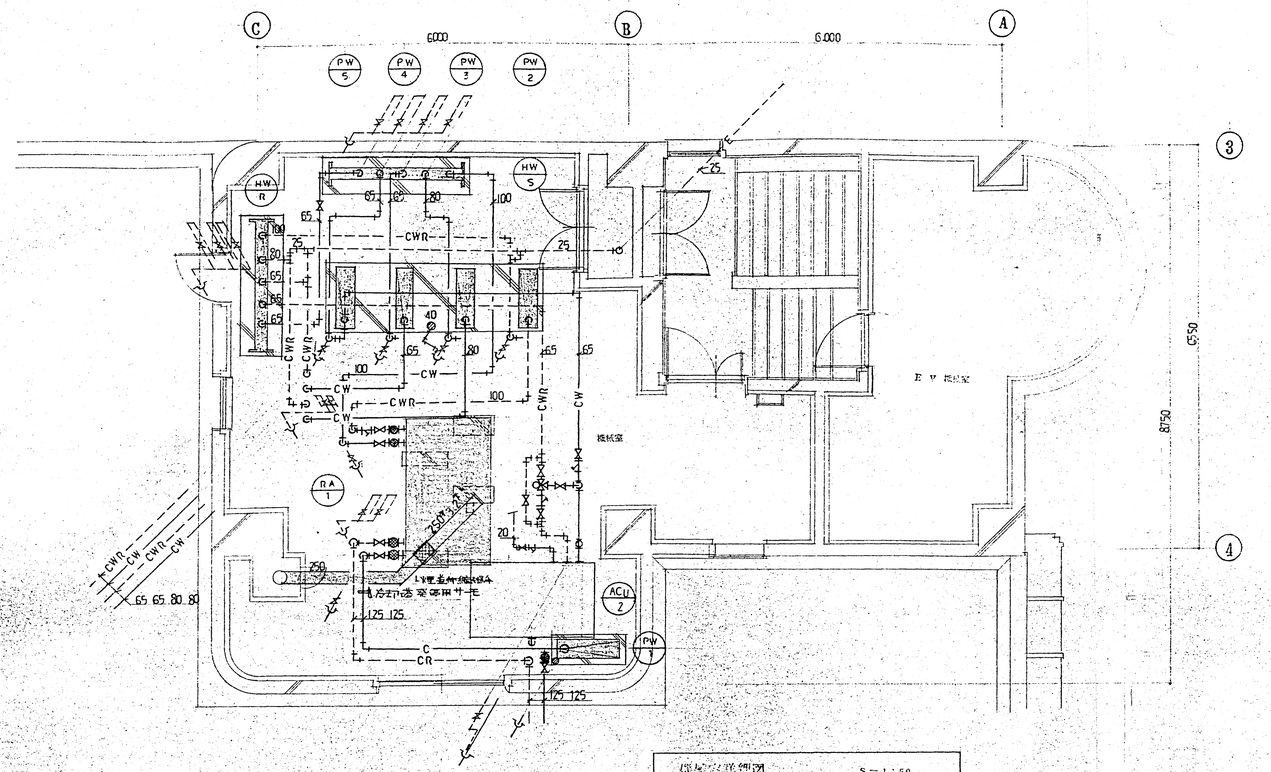
5 階 平 面 図 S＝1：100



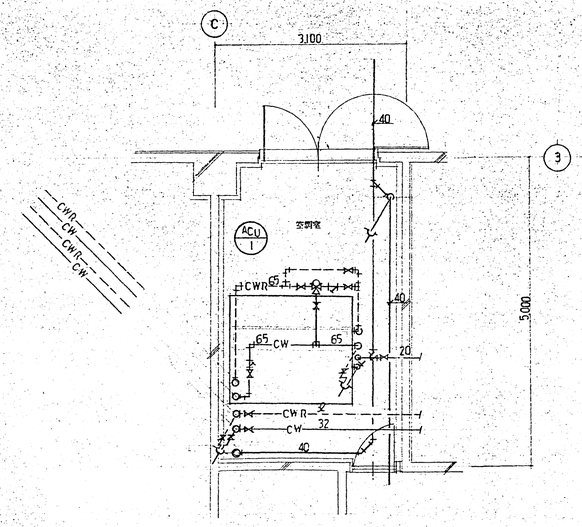
塔屋 平 面 図 S＝1：100

特記事項		打合せ事項	株式会社 三建設計 綜合事務所 長崎県知事登録(イロ)1-75033号	設計者	1級建築士 第[illegible]879号 吉 原 頑 男	設計 / 照査 / 審図	工事名称	諫早共同板金施設（都市型） 新築工事
							図 名	給 排 水 衛 生 設 備 5階塔屋 平 面 図

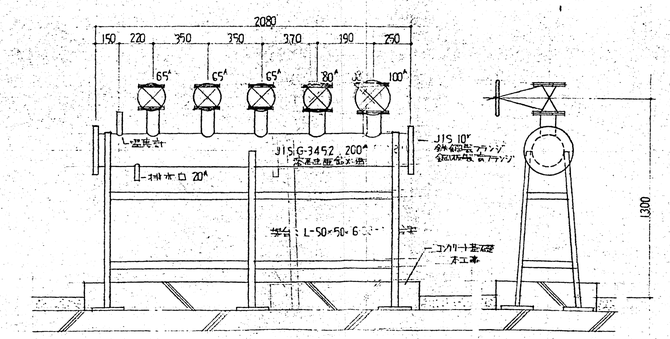
縮尺 S＝1：100　日付　図面No. M 8



機械室平面図 S=1:50



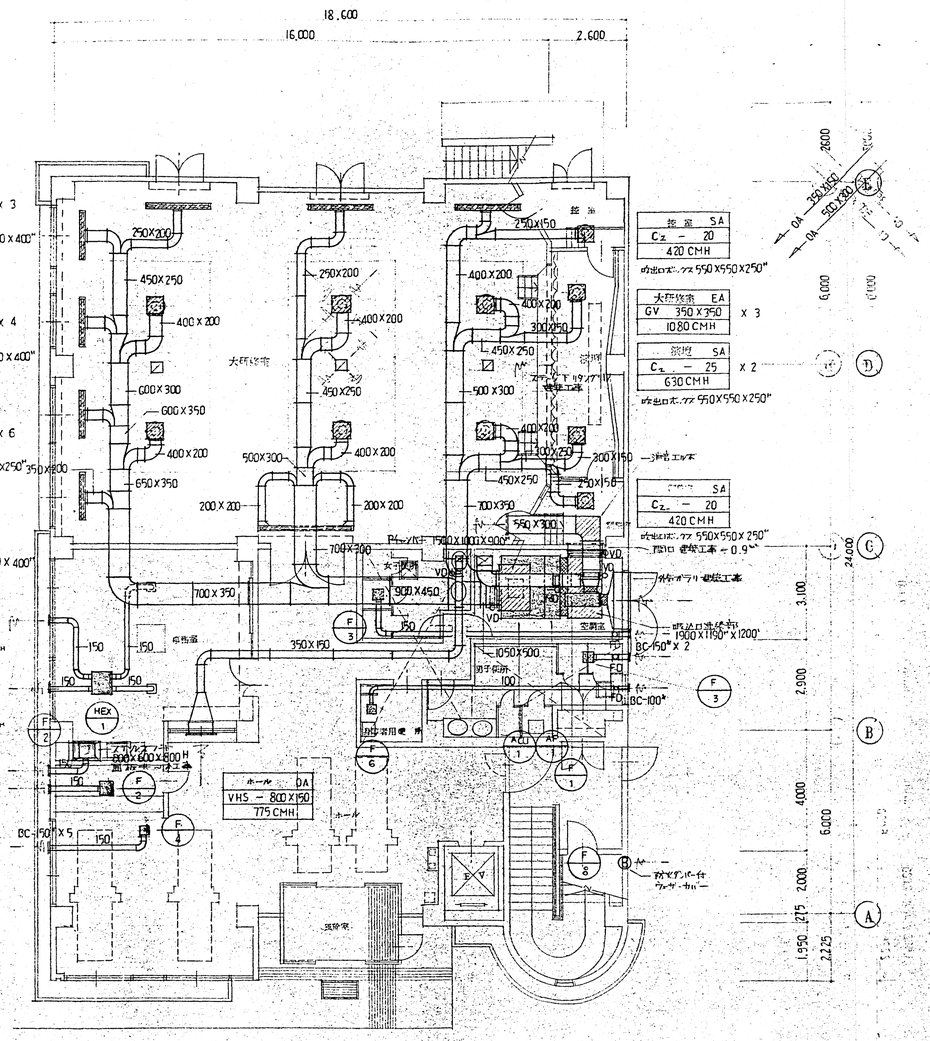
1 階 空調室 詳細図 S=1:50

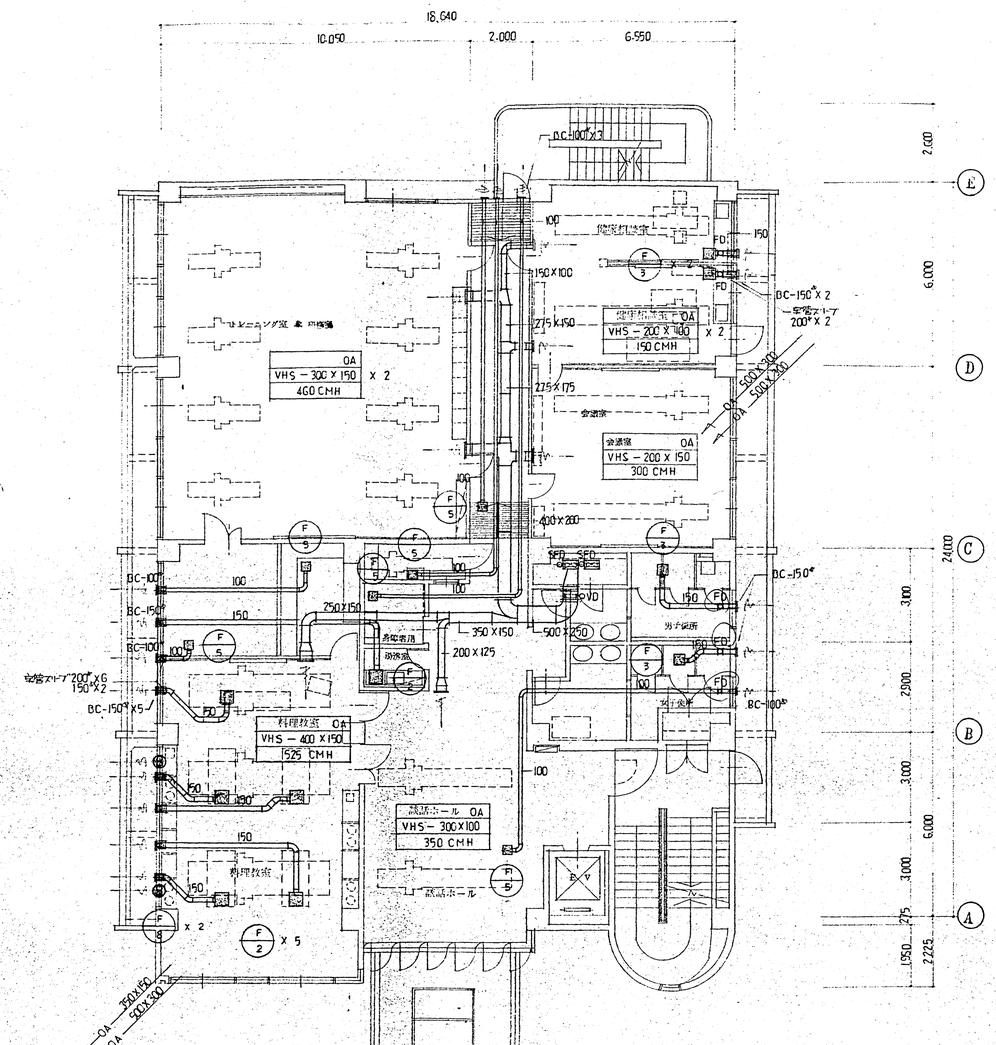


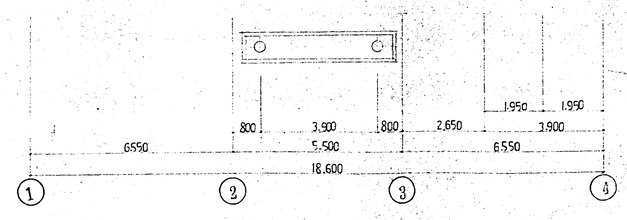
冷温水用管寄せ(参考図) S=1:20

特記事項		打合せ事項	株式会社 三建設計 綜合事務所 長崎県知事登録第1-75033号	設計者	1級建築士登録第42879号 吉原 殖男	設計	検査	製図	工事名称 陸上共同溝組合施設(都市型)新築工事 図名 空調設備詳細図

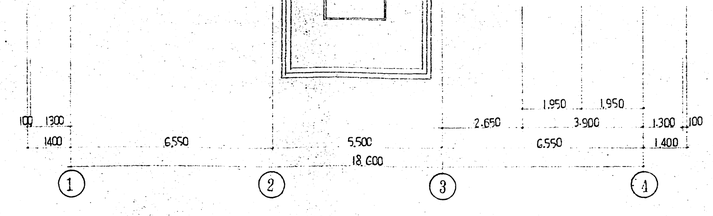
縮尺 S=1:50 S=1:50 日付 図面No. M9





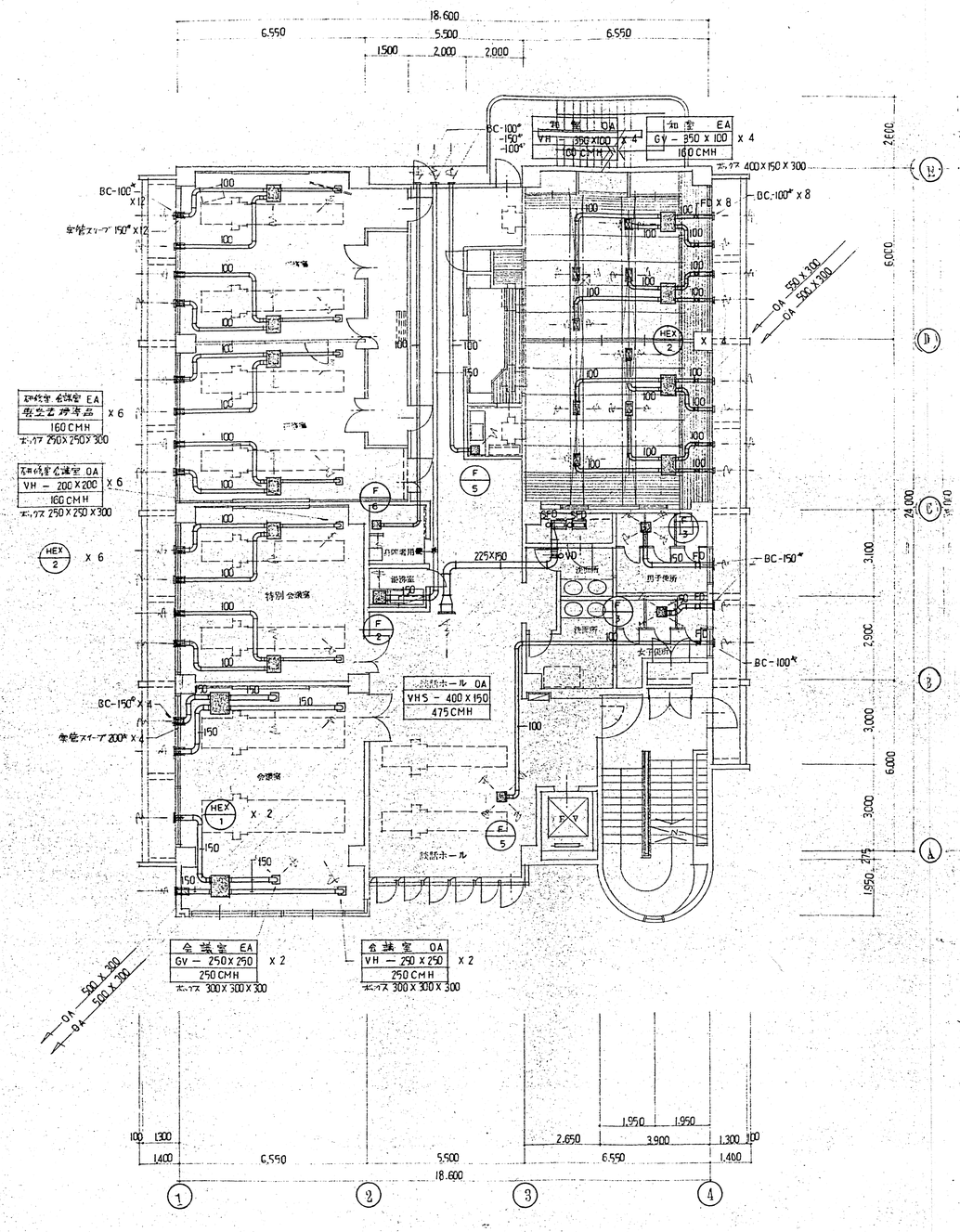


1 階平面図 S = 1 : 100

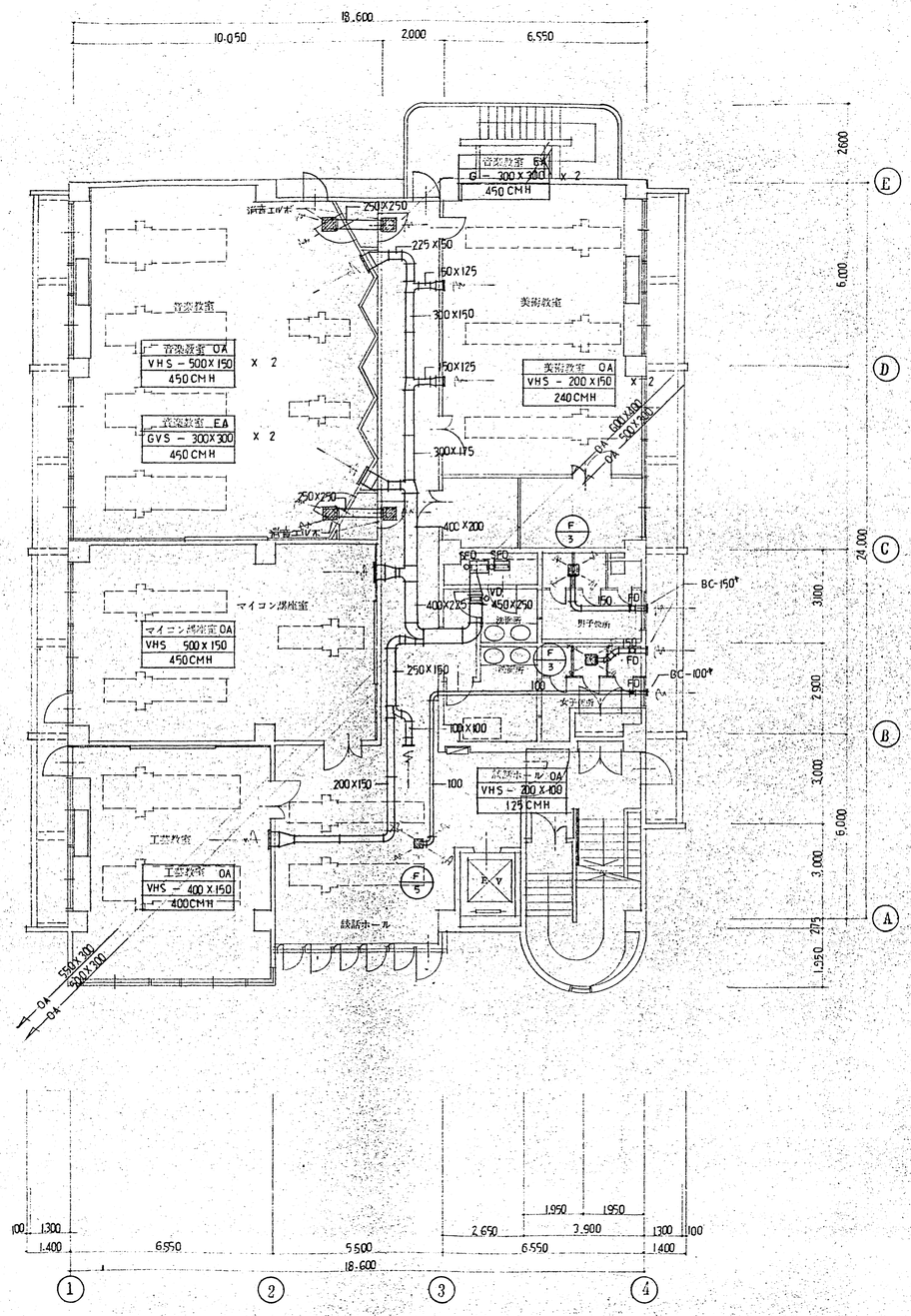


2 階平面図 S = 1 : 100

特記事項	打合せ事項	株式会社 三建設計 綜合事務所 長崎県知事登録第1-7033号	設計者	1級建築士登録第42879号 吉原雄男	設計 / 照査 / 承認	工事名称	社会福祉施設建築物(都市型)新築工事
						図名	空間 1,2 階平面図
						縮尺	S = 1 : 100
						日付	
						図面No.	M 10

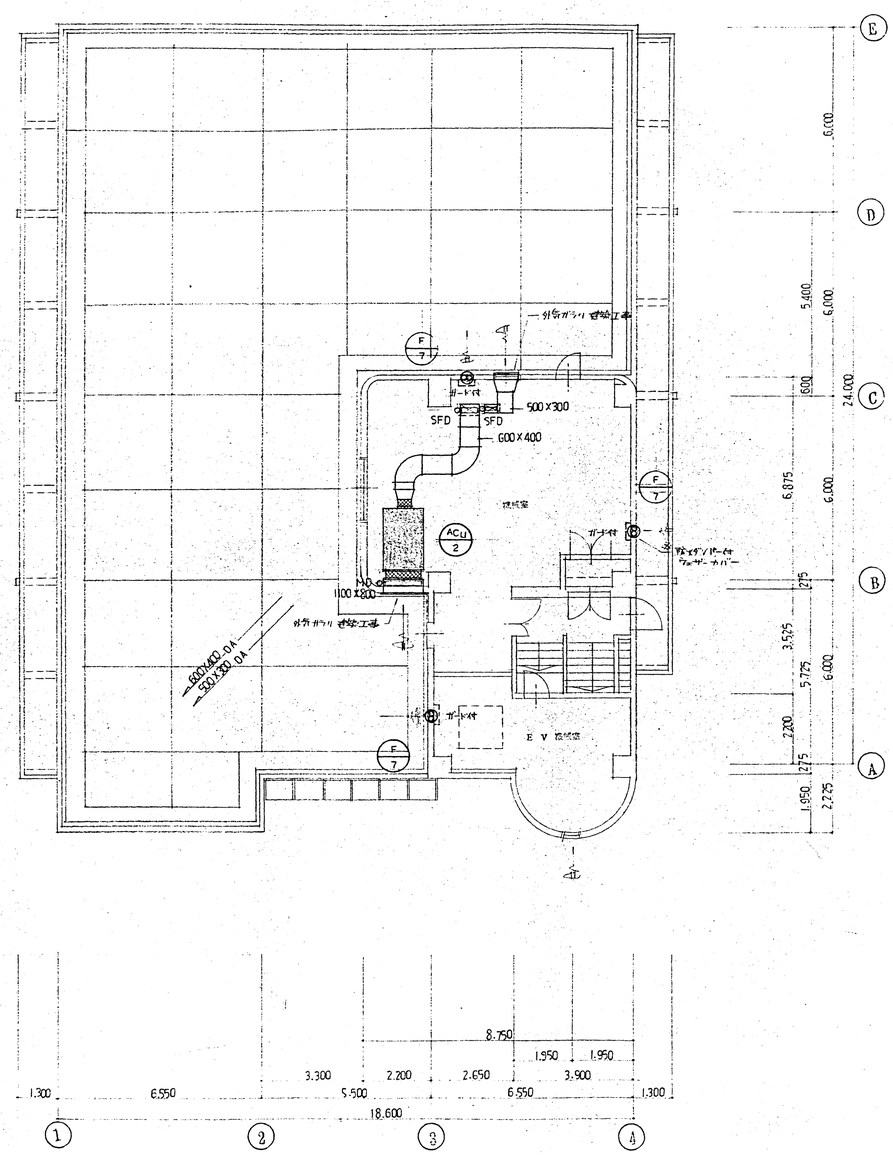


3 階平面図 S=1:100

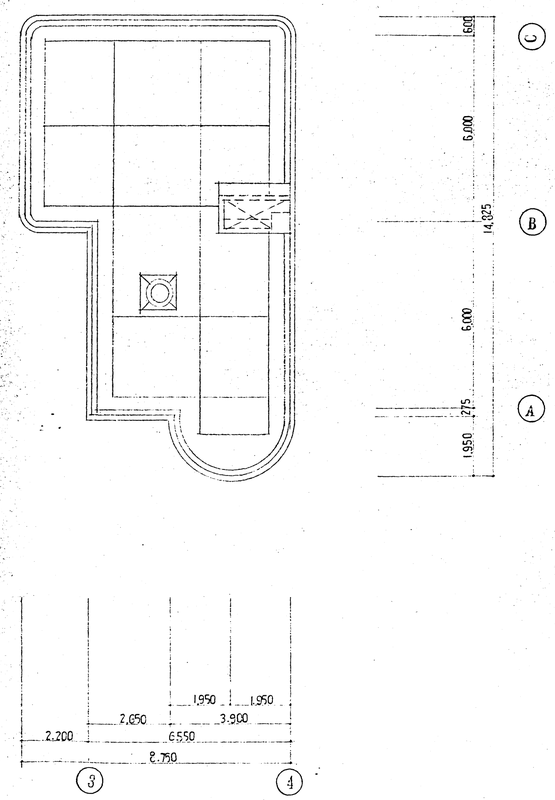


4 階平面図 S=1:100

施工記録	BC-150° 100° …… ステンレス低反発タイプベントキャップ	打合せ	株式会社 三建設計 綜合事務所 長崎県知事登録第1-75033号	設計者	1級建築士登録第42879号 吉原 孝男	設計 / 検査 / 製図	工事名称	諫早共同福祉施設(都市型)新設工事	縮尺 S=1:100 / 日付 / 図面No. M11
施工者							図名	平面 3.4 階平面図	

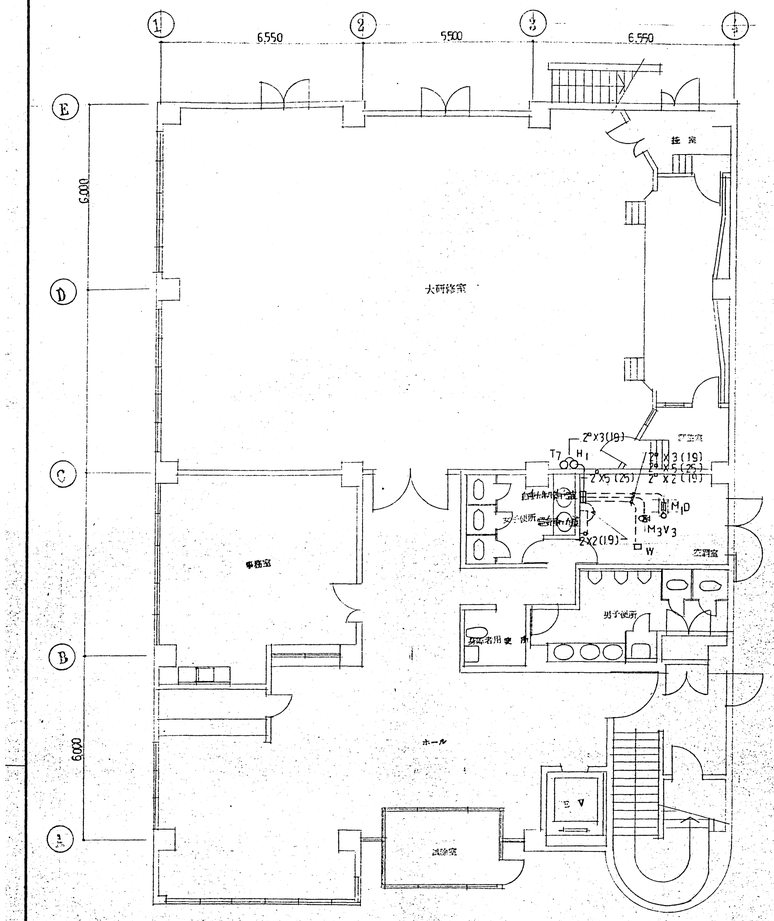


5 階 平 面 図 S=1:100

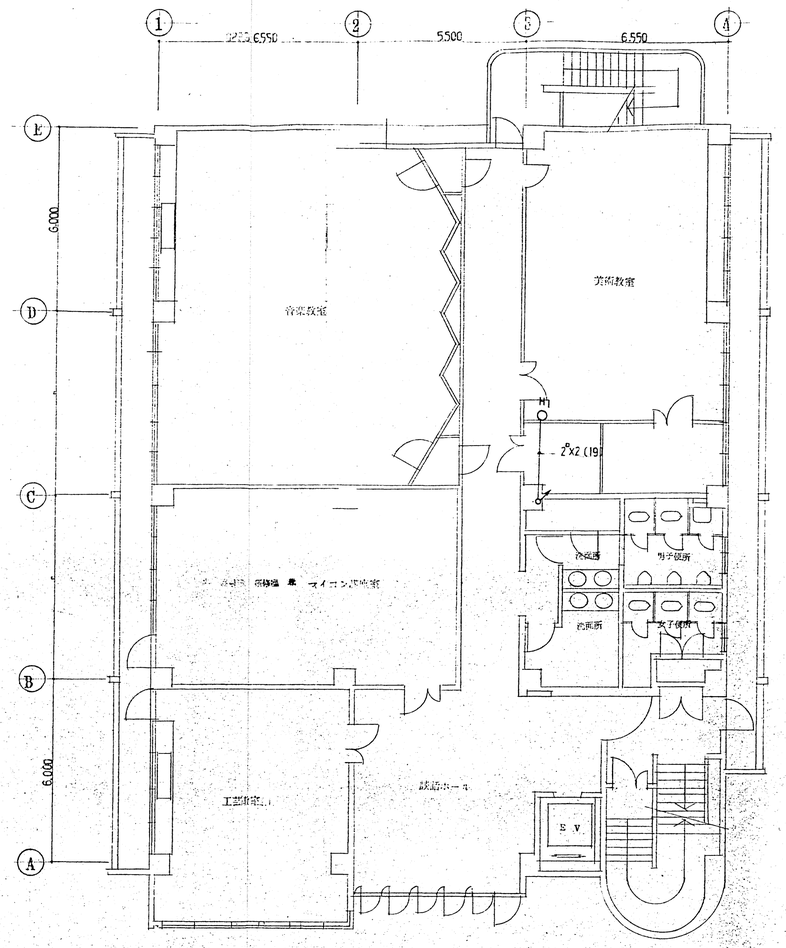


塔屋 平 面 図 S=1:100

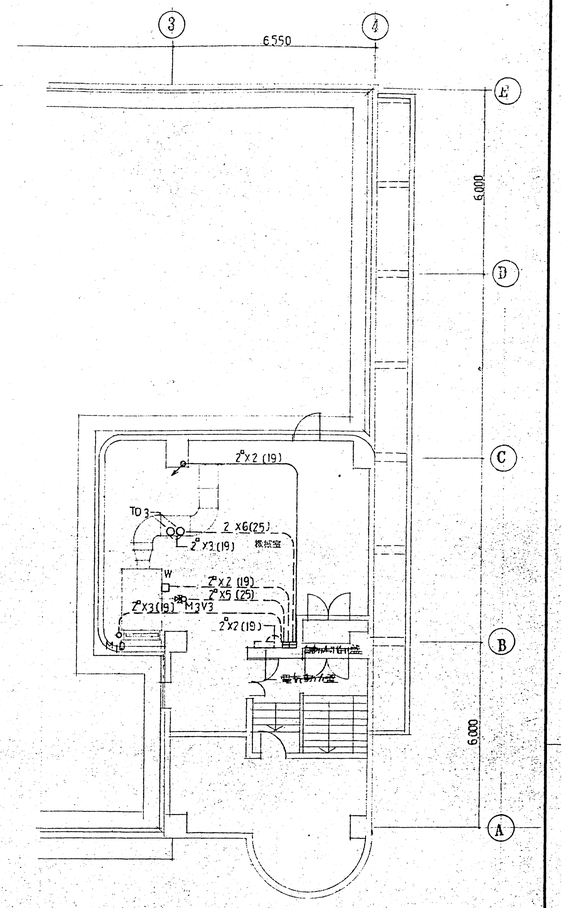
特記事項		打合せ事項	株式会社 三建設計 綜合事務所 長崎県知事(建)第1-75033号	設計者	1級建築士登録第42879号 吉原建男	設計 / 照査 / 製図	工事名称 諫早共同福祉施設(都市型)新築工事 図名 按分 5 階 塔屋 平 面 図	縮尺 S=1:100 日付 図面No. M 12



1 階平面図 S=1:100



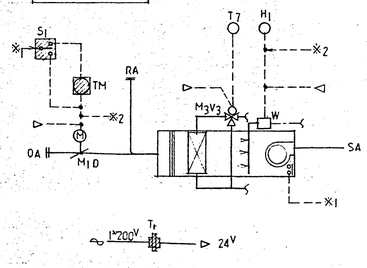
4 階平面図 S=1:100



5 階平面図 S=1:100

大研修室系統空調自動制御

システム図



自動制御機器表

記号	名称	備考
T_7	温度調節器	
H_1	湿度調節器	
M_3V_3	50A電動3方弁	冷温水用 CV=36
M_1D	電動ダンパ	ダンパーサイズ 500×300
TM	タイマ	タイマ定格 120分, タイマ設定 30
S_1	切替スイッチ	
T_r	トランス	
	自動制御盤	
W	水加湿器	加湿量 18kg/hr 噴霧量 45kg/hr

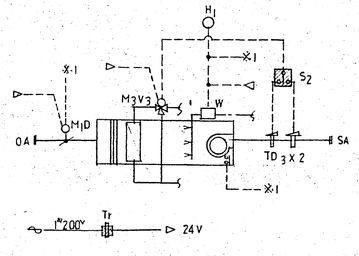
(注)
1. 斜線部機器は、自動制御盤取付
2. は常用ルート線は一式含む。
3. Wの加湿回路には「自動」「断」「試験」の切替スイッチおよび運転表示灯(RL)を設ける。
4. Wの電源操作回路は自動制御盤に設ける。

動作説明

1. 夏、冬の切換は T_7 付属の切替スイッチで行なう。夏冬共に T_7 の指令により M_3V_3 を比例制御する。
2. 加湿は H_1 の指令により加湿器Wを2位置制御する。
3. Wはファンとインターロックし外気取入電動ダンパーと連動運転とする。
4. 外気取入電動ダンパーは予冷、予熱時には、タイマーTMにより閉としファン停止時も閉とする。
5. 中間期には切替スイッチ S_1 を TMバイパス回路に切替え、空調運転に時間を設けない。

外気用空調機自動制御図

システム図



自動制御機器表

記号	名称	備考
TD3	温度調節器	
H_1	湿度調節器	
M_3V_3	40A電動3方弁	冷温水用 CV=23.7
S_2	切替スイッチ	
T_r	トランス	
	自動制御盤	
W	水加湿噴霧加湿器	加湿量 30kg/hr 噴霧量 74kg/hr
M_1D	電動ダンパ	ダンパーサイズ 1100×800

(注) 大研修室系統の(注)1～4.に準ずる。

動作説明

1. 夏冬の切換(S_2)は自動制御盤で行なう。
2. 夏冬共にTD3の指令により M_3V_3 を比例制御する。
3. 加湿は H_1 の指令により、加湿器Wを位置制御する。
4. Wはファンとインターロックしファン停止時及び停電時に停止する。
5. 外気取入電動ダンパはファン運転と連動し開閉する。

特記仕様		打合せ事項	

株式会社 三建設計 綜合事務所
長崎県知事登録第1-75033号

設計者 1級建築士登録第42879号 吉原雄男

設計	照査	製図

工事名称	諫早共同作業所庁舎(都市型)新築工事	縮尺 S=1:100	図面No M13
図名	空調設備 自動制御図	日付	